

校長通信「つぶやき」 佐伯市立鶴谷中学校 校長 渡邊和彦

令和6年6月26日 第13号(通算第68号)

○友だちをうまく作れないで悩んだ・・・

友だちがうまく作れないんだろうな・・・と感じる事があります。なんとかしてあげたいなと思います。自分が同じような経験をしたから・・・同じような癖があったから。

当時の自分を振り返ると、例えば、人の話に割って入る、話の腰を折る、そして会話に割り込むと、自分の話ばかりで人の話をゆっくりと聞かない、おまけに話題を盛り上げようと、他人の悪口をネタにしたり、他人をディスったり、陰口でマウントとったり、ふかしたり、盛ったり、自分が他人からどう思われているのかについては激しく神経質で臆病なのに、他人の事は平気で批判し、妬み、「それくらい俺でも出来る！」と素直に他人を認められない。

嫌がっているのにちょっかいを出す。かまって欲しいから・・・最近では「かまちょ」と言うらしい。かまってももらえないと不機嫌になり、当然、相手も不機嫌になる、その相手の表情を観て腹を立て、しまいにはケンカになる。「あいつといるとトラブルになる」と噂が広がり、ますます、友だちは遠のいていく。

トラブルになることがわかっているから「渡邊・・・もっとこうの方が良いよ！」と諭してくれる人もいなくなる。言い返され逆ギレされるのが怖いから。かといって謙虚さのかけらもない状態だから「俺どうしたら友だちになってくれる？ どうしたらうまくいくの？」と聞くこともできない。自分の子どもの頃の事を振り返ると恥ずかしく情けなく、失った物が大きかったな・・・と後悔します。

認められたかったんだろうなと思います。いわゆる承認欲求です。上か下か、勝ったか負けたか、そんな事ばかりに取り憑かれていた。もっと上へ、もっと上へ！と努力を怠らねばいいのに「あいつに勝ったから良し！」と井の中の蛙になり、能もないのに爪を見せたがり、虎の威を平気で借り、返すことも借りたことに感謝する事すらできない。過去は消せません。では、どうすれば良かったのか・・・

結論！「人の悪口・陰口は言わない」「ありがとう、ゴメンね、をかかさずに言う」「受けた恩は忘れず、与えた物・事の見返りは期待しない」いや・・・究極は「人の悪口・陰口は言わない」これだけで充分だったかもしれません。まだ自分にはできていない。61才になってもまだダメです。くやしい。ヒントになったら良いけど。

○学校公開ウイークと避難マップ

近いうちに正式な詳細な日程をお知らせしますが約2週間の「学校公開ウイーク」をもうけます。期間の間いつでも、どの授業でも見に来てください。出入りのタイミングは自由です。不審者対策のため入り口は正門のみ、記名とプレートを下げて頂きます。是非お子さんの通常の授業の様子を観察してください。

それと学校評価アンケートの中でも貴重なご質問を頂きました。津波避難訓練についてです。学校では在校中の避難訓練を先日行いました。垂直避難です。想定されている7mの津波であれば校舎「4階または屋上」が、命を守る上では有効だと考えます。状況によっては渡町台小学校そばの「やまぼと公園」に避難します。途中の経路の崩壊が心配です。登下校中や休日、在宅時の避難場所ですが、かつて育友会の皆さ

さんが素晴らしいマップを作ってくださいました。本日、紙ベースで生徒全員に配布しました。自宅の場所と良く行く場所や遊ぶ場所を確認し、直近の避難場所を認知して欲しいと思います。後ほどマップのPDFデータは保護者の皆様にもTetoruにて配信いたします。

また、引き渡し訓練も計画しています。今年は、1年生と2年生で計画中です。宿泊訓練のお迎え時と修学旅行のお迎え時に実証実験的にできればと考えています。引き渡しカードについては全校対象で作成する予定です。どうぞよろしくお願いいたします。いつも有り難うございます。